

仁生園デイサービスセンター

八月二十四日(金)・二十七日(月)・二十九日(水)の四日にわたり、北杜市明野町「ヒマワリフェスタ」にバスハイキングに行ってきました。グループホーム「やすらぎ」・生活支援ハウス「こあらま」の入居者も参加、天候にも恵まれ、バスの中では歌を歌ったり体操をしながら、童心にかえて楽しんできました。



仁生園デイサービスセンターでは、皆様に喜んでいただけるレクレーションや行事を行っています。ぜひ、ご利用下さい。



魚釣りゲームや的当てゲームの様子

愛寿会のサービスに何かご意見・ご要望がございましたら、また、施設見学等のご希望がございましたら左記までご連絡ください。

仁生園 電話 0551(32)3340
第二仁生園 電話 0551(32)8270

9月行事予定表

Table with 4 columns: Day, Day of Week, 仁生園 (Jinsei-en), and 第二仁生園 (Daini-Jinsei-en). It lists activities such as shopping, movie screenings, floor days, and various games throughout the month of September.

感謝

平成二十四年八月一日〜
平成二十四年八月三十一日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございます。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄付

- 北杜市長坂町 小林 恒次 様
- 北杜市長坂町 菜がさ果 様
- ふれあい出荷組合 様

ボランティア活動

- レクボランティアほがらかグループ 代表 吉田 道子 様
- レクボランティアゆずっこの会 代表 佐野 恭子 様
- 北杜市高根町 保坂 多枝子 様
- 北杜市 青柳 昭次 様
- 北杜市高根町 輿水 百合子 様
- 北杜市大泉町 森田 民子 様

愛寿会後援会へのご協力



小宮山光彦新理事長による職員への訓示の様子

愛寿会だより

9月号
第159号
平成24年
9月1日発行

七月二十五日（水）

小宮山光彦新理事長が着任され、

職員に訓示をいただきました

去る、七月二十五日（水）午前十時、小宮山新理事長が初登園され、職員に就任のあいさつがありました。

初めに、「小澤澄夫前理事長をはじめ歴代理事長の偉功を引き継ぎ、愛寿会の一層の興隆に尽くしたい」との決意表明がありました。

（以下、その要旨を掲載します。）

愛寿会の理事に就任してから十数年が過ぎ、この度、理事長に就任することになりました。感慨深いものがあります。福祉の仕事の細かなことについては理解が不十分かと思いますが、愛寿会が目指すべき方向性については、理事としてこれまで関わってきた経験などから、ある程度理解ができています。

愛寿会が目指すべき方向というのは、愛寿会が「モットー」としている

「利用者本位のサービスの実践」

「専門性の活かせる職場づくり」

「地域社会との協働と貢献」に、

よく表れていると思います。

まず、「利用者本位のサービス」ということは、気遣いの心を持つということに通ずると思います。職員が利用者様と共に、良好な居住空間を醸成していくことが、利用者様に快適な時を過ごしていただくことに繋がると思っています。

次に「専門性が活かせる」ということは、一人一人が、日々精進を重ねていくということとは言うまでもなく、職員が相互に連携して協調することだと思っています。日頃から「報告・連絡・相談」（ホウ・レン・ソウ）を忠実に実践していくことが、各々の介護技術を上させ、「質の高い介護サービスが提供できる施設」を築き上げることに繋がるものと思っています。

三つ目の「地域社会との協働と貢献」ですが、これは極めて重要な事柄です。施設の利用者様の高齢化・重度化が顕在化している中で、福祉に従事する者は、「和を以て貴しとなす」の言葉のとおり、地域の皆様のご協力をいただきながら、人間関係を大切にすることに留意して、自らの業務に携わっていただきたいと思っています。

職員のみなさんは、すでに承知のことと思いますが、愛寿会には「素直」「反省」「感謝」「謙虚」などの言葉を含む「介護、七つの誓い」があります。これらの言葉の意図するところを今一度顧みながら、毎日の業務に従事していただくことを深くお願いして、就任のあいさついたします。

終わりに、（相互に）「よろしくお願ひします。」の言葉で、散会となりました。



苦情解決相談第三者委員会の様子

八月二十四日（金）午前十一時から 愛寿会苦情解決相談委員会
 第三者相談委員の皆様に対する委嘱状の交付式が開催されました

平成二十四年度から平成二十六年年度の期間の愛寿会苦情解決相談委員会第三者相談委員の委嘱状の交付式が執り行われ、引き続き今年度初の苦情解決相談委員会が開催されました。相談委員会の委員長には、規程による互選の結果、高根町の坂本 仁様が就任されることになりました。

会議の席上、仁生園の副園長・第二仁生園の園長から介護業務中の事故やヒヤリハットの発生状況などが報告されました。

また、苦情解決相談第三者委員に就任された皆様からは、前年度に引き続き、「要望も苦情と捉える」姿勢の堅持や要望・意見が出しやすい環境づくりに配慮した施設運営など、貴重なご意見をいただきました。

苦情受付担当者

仁 生 園 法人事務局長 清水 元 義
 法人事務部長 神 部 司
 法人企画部長 石 原 公 興

第二仁生園 副園長 浅 川 まゆみ
 リーダー 清 水 寿 一

苦情解決責任者

仁 生 園 園 長 小 尾 章 臣
 第二仁生園 園 長 白 倉 直 子
 苦情解決相談第三者委員（掲載五十音順）

高 根 町 坂 本 仁

小 淵 沢 町 進 藤 柏 弘

長 坂 町 田 中 寿 弘

大 泉 町 平 井 静 子

一―三班 仁生園内喫茶「いこい」にて
 昼食を楽しむ

八月十日（金）六名の入所者の方々と喫茶「いこい」にて会食を行いました。

カレーライスや中華井、温かいうどんなどを注文し、昔の話や世間話をしながら一時間ほどゆっくり食事をされました。



「小荒間鈴みこし」
 仁生園を訪問

利用者の皆様大喜び

八月十四日（火）、小荒間地区の「子どもみこし」が仁生園を訪れました。

「ワッショイワッショイ」の元気な掛け声に利用者の皆様大喜び、満面の笑みで拍手をしていました。



グループホーム「やすらぎ」

八月二日（木）、長野県富士見町「ゆりの里」と同原村「農業実践大学校」に行ってきました。



お天気も良く広々とした芝生で寝転んだり、お弁当やアイスクリームを食べて、楽しい一日を過ごしました。



生活支援ハウス「こあらま」

今年の夏は特に残暑厳しい。その中で「こあらま」の利用者に少しでも涼しさを感じてもらおうと「流しソーメン」を準備しました。「え！

他でもやってるって。うちのソーメンは特製です。一束五十円。すみません。普通でした。」



第二 仁 生 園 行 事

「流しソーメン」で涼みました

八月八日（水）、園の中庭で流しソーメンをしました。恒例でソーメンのほかに、第二仁生園の畑で収穫したモロッコやミニトマト、きゅうりも流れてきます。

今年の夏は全国的に猛暑でした。第二仁生園も毎日暑い日が続いている中、この日は冷たい流水からの流しソーメンで暑さ凌ぎをしました。



「みこし」でワッショイ！

八月十四日（火）、長坂町小荒間地区の「小荒間鈴みこし」の子供たちが、元気にやってきました。

汗だくで来園して頂き、ありがとうございました。

「塩川ダム」周辺へ

バスハイクに行ってきました

八月二十二日、二十三日の両日、北杜市須玉町の「塩川ダム」辺りへ、バスハイクしてきました。

バスが山の中を進むに連れて、目の前に迫ってくる緑の山に皆さん驚かれています。「塩川ダム」は、高さ七十九メートルの重力式コンクリートダムです。

近くの公園で休憩時に食べたソフトクリームは格別の様子でした。

